

1. あいさつ

神奈川県立産業技術短期大学校

校長 工藤 伸弘



本校並びに職業能力開発推進協議会の年間の研究成果と事業報告をまとめた「アニュアルレポート2024」の発行にあたり、ご挨拶を申し上げます。

ウクライナ危機に端を発する物価高騰や人手不足など企業を取り巻く経営環境は厳しい状況にある一方で、新型コロナウイルス感染症の収束によって経済活動の正常化が進みつつあり、経済の動向が変わってきています。また、グリーントランスフォーメーションやデジタルトランスフォーメーションへの動きや人口減少などの様々な課題へ対応しつつ、企業が生産性を向上させ成長していくことが重要であると認識しています。これらの実現を担う「実践技術者」を育成する本校の役割は一層重要性が増していくと考えており、今年度もカリキュラムに反映した取り組みを進めて参ります。

本校の学生の就職活動に関しましては、例年通り着実に内定を獲得しています。会員企業の皆様にはインターンシップの受け入れ、情報交流会、合同企業説明会などで多大なご協力を頂いており、この場を借りて改めて御礼申し上げます。

一方、本校の最も大きな課題として、入学生の定員割れがあり、今年度の入学者数は100名と定員の50%になりました。そのため、昨年立ち上げた「産業技術短期大学校の在り方検討部会」における議論を本格化すると共に、校の魅力づくりとタイムリーな情報発信、校舎の改修工事・設備更新によるホスピタリティの向上などに取り組んで参ります。これからも皆様のご意見を伺い、本校の事業内容のさらなる充実を図って参りますので、引き続きご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

産業技術短期大学校職業能力開発推進協議会

会長 野中 啓孝



令和5年度から本協議会会長を務めております成幸工業株式会社の野中です。本協議会は、短大校が推進する教育訓練への支援、会員企業の人材育成に関する支援、会員相互の情報共有を目的に活動しています。会員数は、令和6年6月末現在で371会員となりました。会の運営につきましては、多くの会員に支えていただいております。誠にありがとうございます。

さて、5月の総会において、今後の短大校の活動支援を拡充するの目的で、年会費を値上げさせていただきました。発表会等のイベントへの参加や、他県の短期大学校生との競技会開催の支援などを通じ、学校生活では得られない経験をしていただくことを応援したいと考えております。

また、今年度は、短大校の見学会も企画されるようです。短大校の先生方と意見交換する場を設けることで、会員と短大校との連携強化が図られ、これまで以上によりよい産業人の育成に繋がるものと期待しております。

このアニュアルレポートは、短大校と推進協議会について、この1年間の活動状況をまとめております。短大校と推進協議会のご理解を深めていただけることを願っております。